



「水草調査&水質調査」

2009/8/6～7

マガレンジャーの心得(こころえ)…①自然を大切にします、②宮島沼の生き物を守ります、③友達と仲良くします

■今回のテーマは、「水草」「水質」

毎年夏に実施している「宮島沼キャンプ」。まる1日かけて宮島沼のいろいろをじっくり調査することで、宮島沼がどんな状態なのか?をしる。去年は魚だったが、今年は「水草」と「水質」。水草博士やまさん(札幌市博物館活動センター)、水博士ナカム〜(鳥取大学大学院 連合農学研究科 博士課程)をおむかえし、水草について、水草とその環境とのつながりについて、大人も知らないすごいことをしっかり学んだ。妃奈子隊員・俊哉隊員・智也隊員・裕次郎隊員・有咲隊員をリーダーに、総勢20名、今年も暑い夏到来。※お手伝いに来てくれた中学生隊員(=兄貴姉御隊員:湧大隊員・美歩奈隊員・美咲隊員)ありがとう!

▽ 調査[1]～沼で水草をさがそう ▽



まずはカヌーで調査開始。調査方法、水辺調査時の注意を水草博士やまさんから教わった後、ライフジャケットを身につけ、中村連合会さん&美唄猟友会さんにお借りしたカヌー&ポートで沼へGo! やっとパドルの使い方に慣れた頃風が吹き始め、カヌー操作に四苦八苦。調査用紙を飛ばしてしまうなどのハプニングもあったが、水草採集、水採集、水温測定など決められた調査をなんとかこなし、野外調査をやりとげた!

▽ 調査[2]～水草の観察、水質実験 ▽

お手伝いに来てくれたお母さん、お父さんと一緒に隊員全員で協力して作ったカレーライス&野菜スープをお腹いっぱい食べた後は、..... 調査のつづき、観察&実験編。



前半の部は水草観察。水草とは?という解説に始まり、宮島沼に生えているいろいろな水草をさわったり、フワフワのスポンジ状の茎をわってみたり。ヒシのトゲは花びら?がく?難しい言葉もぞくぞく。抽水(ちゅうすい)植物、浮葉(ふよう)植物、沈水(ちんすい)植物、浮遊(ふゆう)植物。



後半の部は水質実験。はじめてみる調査器具がいっぱい。ろ紙、ろ過装置、試験管、エタノール。水がにごっている原因は?沼の水をろ過した後の液体は何色?水道水にプランクトンはある?ドラム缶風呂の時間を削って実験にぼつと。隊員たちが真剣に頑張っていた様子が印象的であった。

▽ 調査[3]～まとめ ▽



調査したことは、人に伝えないと意味がない!ポスターに観察できた水草、生き物の絵をかき、場所による沼の水の色の变化もぬった。「水草」「水質」「生き物」などの関係

=たべる・たべられるの関係を⇒で記入して完成!隊長から「簡単でよいから発表してほしい」との急な指令がくれたが、リーダーでもある中学生隊員(兄貴姉御隊員)たちがしっかりと発表してくれた。作ったポスターは今年度いっぱいセンターで展示し、来館者にみてもらう予定だ。

■次回は・・・

10/11(日)14時～19時「マガン調査」を実施する。「目標:1万羽を正確にカウントしよう!」を目指して、今年もカウント調査にのぞむべし!マガン飛来期前(9月)にはゴミ拾いもするので、指令書(しらいしょ)を待て。

「我々は宮島沼とマガンを守るために活動するパートナーなのだ!自分の行動には責任をもたなければならない。」隊長からの叱咤激励(しったげきれい)があった。そう!我々はパートナー!これからも一緒に頑張ろう!!